議会運営委員会記録

- 1 日 時 令和7年1月27日(月曜日)
開 会 午前 9時57分
閉 会 午前10時45分
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 出席委員 10人
委員長 高 田 真 里
副委員長 久 保 大 憲
委 員 柏 佳 枝
// 澤 田 和 秀
// 高 原 讓
// 松 井 邦 人
// 泉 英 之
// 舎 川 智 也
// 高 道 秋 彦
// 村 石 篤
- 4 欠席委員 0人
- 5 委員外議員として出席した者
議 員 大 島 満
// 谷 口 寿 一
// 尾 上 一 彦
// 赤 星 ゆかり

6 職務のために出席した者

【議会事務局】

事務局長	中 村 敏 之
事務局次長	高 田 まどか
参事（庶務課長）	澤 野 重 雄
議事調査課長	鳥 取 則 子
議事調査課長代理	酒 井 優
議事調査課調査係長	谷 端 裕美子
議事調査課議事係長	土 方 智 樹
議事調査課主任	杉 林 睦 美

7 会議の概要

委員長

ただいまから、議会運営委員会を開会いたします。
まず、委員会記録の署名委員に柏委員、澤田委員を指名いたします。
協議を始める前に、令和7年1月22日付で東委員が議会運営委員を辞任され、新たに村石議員が議長の指名により委員に選任されておりますので、御承知おき願います。
本日の協議事項は、お手元に配付のとおりであります。
初めに、大きな協議事項の1番目、代表質問の在り方についてであります。
このことについては、前年度において提案があり、去る令和6年8月2日の本委員会において継続して協議することとしておりました。
それでは、代表質問の在り方について、皆さんの御意見を順番にお伺いしたいと思います。

舎川委員

以前、代表質問の在り方について考えましょうというお話をいただきました。我が会派でもいろいろと話をしているところであります。
先般、他の議会の状況や代表質問の方法についてチームズで資料を提供していただき、議論を進めているところではあります。改選が近いということもあり、今後どのような会派構成となるのか、そしてどのような議員が出てこられて、どのような思いがあるのかがちょっと今の時点では分からないと。ですので、改選後に改めて、次期の議員の皆さんで代表質問の在り方についてしっかりと議論していただければいいのかなと思っております。
会派としては、改選後の皆さんでこの議題についてもう一度話し合っていたきたいと考えております。

泉委員

この議題は私どもの会派からの提案だったと思うのですが、ちょっと調べたところ、中核市の中でも富山市は代表質問の時間がやけに長いのです。
質問項目がすごく多く、午前から午後にかかってし

もうこともあり、実際、午前中の質問が何だったのか思い出せないくらいで、午後3時から午後4時頃までかかることも多いのです。

毎年3月定例会で思うことなのですが、細かいと言ったら失礼ですけれども、まずは大局に関わることを優先していただき、その旨を質問していただくような代表質問の在り方がいいのではないかと考えています。

後に一般質問がありますので、細かい部分や詰めきれなかった部分は同じ会派の一般質問で質問すればいいと思います。

要は、代表質問では各部局のこれからの指針、来年度に向けた予算の本筋をまずは聞いてもらおうと。それで、細部に関しては一般質問で質問してもらおうという在り方がいいのではないかと考えております。次回からではなく、できれば今定例会からそのようなことを踏まえた上で質問づくりをしていただきたいと思っています。

それともう1点、以前お話ししたように、今まで自由民主党会派の議員が議員数の過半数を占めていたことからずっと名残があったのですが、富山市議会自由民主党の質問時間は1時間以内、自由民主党は所属議員数が8人で25分以内、3人の会派の場合は20分以内という決まりになっています。次回からでいいのですが、例えば会派の人数が3人の場合、5人以下の場合、10人以下の場合、15人以下の場合、20人以下の場合というように区分し、質問時間をその人数に応じた比例配分に近い形に変えることを提案したいという考えであります。

柏委員

公明党会派でも今、皆で相談しながら様々な検討をしているのですけれども、先ほど舎川委員がおっしゃったとおり、改選後に皆でしっかりと検討を進めていくことが大事かと思っています。

あと、当局の皆さんにとっても丁寧にお答えしていただいているので、今の思いとしては、代表質問の在り方については現状どおりでいいのではないかと考えております。

村石委員 結論から言うと、継続して審議するということになると思います。
ただ、この提案については非常にいい提案ではないかと考えておりました、変えるものは変えるという立場で継続して審議する必要があると思います。
簡潔に質問して簡潔に答弁するというので、一般質問の場合、3分の1が質問時間に、3分の2が答弁時間に使われるのが一般的です。そのようなことから考えると、なぜ代表質問では1時間の質問に対して3時間の答弁が必要なのか、率直に言って疑問に思います。
ただ、このような質問は駄目、このような答弁は駄目ということまではなかなか簡単には言えないと思うので、そのようなことも含めて、今後協議する必要があるのではないかと考えています。

委員長 今、各会派の御意見をお聞きしましたけれども、検討中の会派や、提案いただいた会派もありました。富山市議会自由民主党と公明党は改選後に継続して審議していければいいという意見で、立憲民主党も今後継続して審議するという意見ですけれども、自由民主党も改選後の継続協議とすることによってよろしいでしょうか。

泉委員 はい。お願いします。

委員長 今、いろいろとお話しいただいた提案なども踏まえ、今定例会は現行どおりとし、改選後の継続協議で詳細を詰めていくということによってよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、そのように決定いたします。
次に、大きな協議事項の2番目、3月定例会の運営についてであります。
お手元に配付の資料1を御覧ください。
まず、市長から、2月27日（木曜日）に3月定例会を招集いたしたいとの申出がありましたので、御

承知おき願います。

次に、議案説明会については、2月20日（木曜日）に開催となりますので、御承知おき願います。

また、議案書は2月21日（金曜日）に配付されます。

それでは、具体的な協議に入ります。

まず、1つ目の会期及び審議日程についてであります。

まず、審議日程についてであります。お手元の資料1に記載しました日程（案）としてはどうかと考えております。

まず、代表質問の日程についてですが、代表質問は申合せにより3人以上の会派のみ行うこととしており、今定例会では、富山市議会自由民主党、自由民主党、公明党、立憲民主党の4つの会派が行うこととなります。

このことを踏まえて、今定例会については、代表質問を2日間に分けて行うとともに、昨年度同様、2日目は代表質問と一般質問を同日開催としてはどうかと考えております。

それでは、招集日以降の日程について読み上げたいと思います。

2月27日（木曜日）本会議（提案理由説明ほか）、
2月28日（金曜日）議案調査日、3月1日（土曜日）、3月2日（日曜日）休会、3月3日（月曜日）議案調査日、3月4日（火曜日）本会議（代表質問）、3月5日（水曜日）本会議（代表質問・一般質問）、3月6日（木曜日）本会議（一般質問）、3月7日（金曜日）議案調査日、3月8日（土曜日）、3月9日（日曜日）休会、3月10日（月曜日）本会議（一般質問）、3月11日（火曜日）本会議（一般質問）と予算決算委員会（前期全体会）、3月12日（水曜日）常任委員会・分科会（補正分）と予算決算委員会（後期全体会・補正分）と本会議（補正分の委員長報告・質疑・討論・採決ほか）、3月13日（木曜日）経済環境分科会及び経済環境委員会、3月14日（金曜日）厚生分科会及び厚生委員会、3月15日（土曜日）、3月16日（日曜

日) 休会、3月17日(月曜日) 建設分科会及び建設委員会、3月18日(火曜日) 総務文教分科会及び総務文教委員会、3月19日(水曜日) 予算決算委員会(後期全体会・当初分)、3月20日(木曜日) 休会、3月21日(金曜日) 議案調査日、3月22日(土曜日)、3月23日(日曜日) 休会、3月24日(月曜日) 本会議(当初分の委員長報告・質疑・討論・採決ほか)となります。

日程については、以上のとおりであります。

したがって、会期は2月27日から3月24日まで、26日間となりますが、会期及び審議日程については、以上のとおりでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように決定いたします。

なお、補正案件分の討論・採決を行う3月12日(水曜日)の本会議は、午前10時から始まる各部門別の常任委員会・分科会、そして、その後に開催される予算決算委員会の補正分の後期全体会の終了後に開催が可能とはなりますが、例年どおり午後3時から開きたいと思えます。

また、最終日、3月24日(月曜日)の本会議については、例年どおり午前10時から開きたいと思えますが、いずれもそのように取り扱うこととしてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように決定いたします。

ここで、3月定例会における討論の通告期限について確認しておきたいと思えます。

まず、補正案件分の採決を行う3月12日の討論・採決に向けた通告期限については、3月10日(月曜日)の午後5時までを第一期限とし、これと対になる立場での討論の通告期限が3月11日(火曜日)の正午までとなります。

次に、最終日、3月24日の討論・採決に向けた通

告期限については、3月19日（水曜日）の午後5時までを第一期限とし、これと対になる立場での討論の通告期限が3月21日（金曜日）の正午までとなりますので、併せて御承知おきください。

次に、2つ目の代表質問、一般質問及び議案質疑についてであります。

それでは、今定例会における代表質問及び一般質問の発言通告の流れを確認いたします。

まず、代表質問についてですが、一般質問とは異なり、質問予定書は提出する必要はなく、質問通告についても、大項目のみを記載してください。

次に、お手元の資料1に記載のとおり、代表・一般質問予定者及び質問順番の各会派からの報告期限が、2月21日（金曜日）の正午まで、次に、一般質問予定書の提出期限については、2月25日（火曜日）の午後3時までであります。

なお、提出された質問項目の一覧につきましては、でき次第、チームズにより配付させていただきますので、一般質問予定者が自身でその内容を確認し、重複している場合には、会派間、議員間で調整をしていただきたいと思います。

その上で、今定例会初日、2月27日（木曜日）の正午までに代表質問及び一般質問について、正式な質問通告を提出していただきます。

発言通告書を提出する際には、通告時間に見合った量の質問となるよう十分配慮していただきたいと思います。

また、その際にもし質問の補足として配付したい資料があれば、併せて事務局へ御提出ください。

提出された資料があれば、2月28日（金曜日）の本委員会にて、資料の配付を認めるかについての協議を行いたいと思います。

以上のような流れになりますので、各会派において周知徹底していただきますようよろしくお願いいたします。

なお、代表質問の質問時間については、申合せにより富山市議会自由民主党は60分以内、自由民主党は25分以内、公明党は20分以内、立憲民主党は

20分以内となりますので、御承知おき願います。
また、一般質問の質問時間についてですが、参考までに、12月定例会終了時の会派ごとの質問時間と残時間の一覧表を配付しておきましたので御確認ください。

なお、一般質問の午前何人、午後何人という割り振りについては、2月28日（金曜日）に開催いたします、本委員会において決定したいと思います。
また、市長から当初提案された議案の質疑については、代表質問・一般質問と一括して行うこととなりますので、御承知おき願います。

次に、3つ目の請願・陳情につきましては、開会日の正午までに受理したものを今定例会に提出することになっておりますので、今回は2月27日（木曜日）の正午までとなります。

提出されました請願・陳情につきましては、2月28日（金曜日）の本委員会において、一括して報告いたします。

次に、4つ目の議員提出の意見書（案）、決議（案）についてですが、一般質問最終日の前日の午後5時までが提出期限となっております。今回は3月10日（月曜日）の午後5時までとなります。

次に、5つ目の追加議案についてであります。

監査委員、教育委員会委員、公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員、それぞれ1名の任期が令和7年5月17日に、人権擁護委員3名の任期が令和7年6月30日に満了いたします。

これらの人事案件については、定例会の最終日に追加提案されることとなりますので、御承知おき願います。

次に、6つ目の選挙についてであります。

常願寺川右岸水防市町村組合議会議員1名が欠員となっております。

本市町村組合議会議員について、今定例会3月12日に選挙を行うこととなりますので、御承知おき願います。

また、富山市選挙管理委員会委員4名及び同補充員4名の任期が令和7年5月16日に満了いたします。

同委員会委員及び同補充員について、3月定例会最終日、3月24日に選挙を行うこととなりますので、御承知おき願います。

次に、大きな協議事項の3番目、富山市議会会議規則及び富山市議会委員会条例の一部改正についてであります。

このことについて、本日の本委員会では事務局が作成した改正（案）についての説明を聞いていただき、次回の本委員会において再度協議を行いたいと思います。

説明については、主な改正内容となる富山市議会会議規則、富山市議会委員会条例、請願・陳情のオンライン化の3つの項目に分けたいと思います。

それではまず、富山市議会会議規則について、事務局より説明させます。

議事調査課長　〔資料2及び資料3により説明〕

委員長　ただいまの富山市議会会議規則の説明について、何か質問はありませんか。

〔発言する者なし〕

委員長　ないようですので、この程度にとどめます。
次に富山市議会委員会条例について、事務局より説明させます。

議事調査課長　〔資料4により説明〕

委員長　ただいまの富山市議会委員会条例の説明について、何か質問はありませんか。

〔発言する者なし〕

委員長　ないようですので、この程度にとどめます。
次に請願・陳情のオンライン化について、事務局より説明させます。

議事調査課長〔資料5により説明〕

委員長 ただいまの請願・陳情のオンライン化の説明について、何か質問はありませんか。

泉委員 請願のほうはまだ納得できる部分が多いのですが、陳情に関して、今まで本人確認をしていなかったからオンライン化しても本人確認をしないというのは、もう既に混乱が見えているような感じがします。なりすましも可能だし、陳情の件数もかなり多くなると思います。
本人が議会に来て陳情を提出するということは、それ相応の覚悟を持った方々が、世の中を何とかしたいという思いを持ってされていることです。
オンライン上で本人確認をしない状態でスタートしないよう、私からお願いしたいと思います。
やはり、本人確認ができるようなシステムを入れないと、かなり混乱しそうな気がするので、要望としてお伝えしておきます。

舎川委員 会議規則と委員会条例について、一度持ち帰って我が会派でももう少し勉強したいと思います。
今、請願・陳情のオンライン化について課題があると泉委員からもお話をいただきました。これについても会派で改めて議論したいと思いますので、事務局が考えるオンライン化のメリット・デメリットについて資料を作成するよう、委員長から事務局へ依頼していただきたいと思います。
あと、陳情件数の大幅な増加という懸念もあると。県議会にも聞いており、今のところそれほど多くなっているはないということですが、その件数の推移や他都市の状況も分かれば事務局にまとめていただきたいと思っています。これも委員長、副委員長から事務局に依頼していただければと思います。

委員長 今、舎川委員から提案のありましたメリット・デメリット等の一覧表を作成し、一度精査していただくことについて、事務局では対応可能でしょうか。

議事調査課長 請願・陳情のオンライン化につきましては、今ほど説明させていただいたとおりではあるのですが、複雑で分かりづらいところもあったかと思えますので、検討していただく項目や、メリット・デメリットも含め事務局のほうで取りまとめ、委員の皆様にご提示させていただければと思います。

委員長 一覧の資料をつくっていただいて、皆さんにご提示させていただくと。今、説明のあったことも含めて、会派の中で検討していただければと思います。ほかに質問はありませんか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようですので、この程度にとどめます。それでは、次回の本委員会において再度協議を行いたいと思えますので、各会派で御協議いただきますようお願いいたします。以上で、本日の協議事項は全て終了いたしました。これをもって、本日の議会運営委員会を閉会いたします。

令和7年3月定例会
(令和7年1月27日)
議会運営委員会記録署名

委員長 高田真里

署名委員 柏佳枝

署名委員 澤田和秀